学年通信　４５回生　第１５号　　他人の評価を気にする他人の人生ではなく

# ～Ｓｈｉｎ～

自分がやりたいことに突き進む自分の人生を生きてください　　４月 25 日

## 勝利は準備を愛する

４月 11 日（火）に離任式がありました。
2 年間、お世話になった副主任の谷祐子先生が伊丹北高校に転出され皆さんにメッセージを伝えてくれました。

谷先生は宝塚西高校が母校で、教員として 12 年間在籍されました。皆さんも悲しく辛いと思いますが、45 回生を卒業まで関わっていくと思っていた谷先生も残念で辛いし、寂しい気持ちだと思います。

離任式でのお話では、谷先生が西高のバスケットボール部でキャプテンをしている時に、一生懸命しているのにうまくいかなく顧問の先生にも叱責され心に余裕がなくなり身体もうまく動かないという悪循環が起こっていたそうです。その追い詰められている状況で、今まで、谷先生は手を抜かず努力を惜しまなかったと気が付いたそうです。そして、皆さんに【勝利は準備を愛する】という言葉を贈られました。

受験においても、目標に向かって努力を惜しまず、いい準備をすることによっていい結果（勝利）を得られるのではないでしょうか。

そして、離任式が終わった後、すべてのクラスに来てくれて離任式で、悲しい気持ちもあり伝えきれなかったことを伝えに来てくれました。その時に、「45 回生の卒業式には祝いに来るので、心の底から祝えるような行動をこの 1 年間してください。」と言われていました。

人との出会いは大切です。また、人への想いはもっと大切です。
いい卒業式に向けて、“いい準備”をしていきましょう。

（全クラス谷先生と記念撮影をしてもらいました）

## 自分の人生

　先日、ニュースで令和 5 年度東京大学学部入学式 祝辞が紹介されていました。“夢”と“経験”について述べられていましたが、その一部を紹介しておきます。興味を持った人は東京大学のHPにも掲載されているので読んでみてください。
「夢」について皆さんにお伝えしたいことは 2 つです。1 つは、夢に関わる、心震える仕事をして欲しいということ。修行のために敢えて途上国の支援とは関係のない仕事をしたときに実感したのですが、
　自分の夢に関わる本当に好きなことをやらないと、それを徹底的に突き詰めることはできません。
また、好きなことをやってないと、幸せの尺度が「自分が他人にどう評価されているか」になってしまう。それではうまくいかないときに持たないです。他人の評価を気にする他人の人生ではなく、自分がやりたいことに突き進む自分の人生を生きてください。
　もう一つお伝えしたいのは、夢は、探し続けて行動し続ける人にしか見つけることはできないということです。夢が見つけられないというのは、ほとんどすべての人が抱え続ける悩みですが、夢は、待っていれば突然降ってくるものではありません。探し続けて、行動してみて、その中で少しづつ「彫刻」のように形作っていくものだと思います。周りに流されず、自分の興味のままに、探し続けてください。
～中略～
　パナソニックを創業した経営の神様、松下幸之助の「道」という、私の座右の詩があるのですが、そこで彼はこんなことを言っています。一部を引用します。
“自分には自分に与えられた道がある。
どんな道かは知らないが、ほかの人には歩めない。
自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがいのないこの道。
他人の道に心をうばわれ、思案にくれて立ちすくんでいても、道はすこしもひらけない。
道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。
心を定め、懸命に歩まねばならぬ。
それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。

**【新コーナー】 Team45 のつぶやき 担当 ; 上本 善之**

## 今やりきらずに一生後悔するのか？

　もし今、タイムマシンがあるならば、過去に戻って自分にこう伝えるだろう。「今やりきらずに一生後悔するのか？」
普段は生徒たちに偉そうに「頑張れ、勉強しろ」と言っているが、過去の自分を振り返ってみれば勉強について甘いところがたくさんあった。「自分ができていなかったのに生徒に偉そうに言う権利があるのか？」そう考えることもある。しかし自分は知っている。もし頑張らなければどうなるのか、どういう気持ちを持って残りの人生を生きていくことになるのか、を。
　もちろん、受験に失敗したからと言って、死ぬわけじゃない。幸せになれないわけでもない。そこには新たな出会いがあり、新たな人生があり、そしていくらでもやり直すことができる。受験に失敗したことについては、今でも強いコンプレックスがある。しかし、それがあるからこそ、一般的な社会人がしているであろう努力をはるかに超えるだけの努力を続け、英語力、指導力を高め続けることができた。もう15年以上、まともにテレビを見ていない。そんな時間は自分には無いからだ。誘惑に負けそうな時も、コンプレックスが背中を押してくれる。「またお前は同じことを繰り返すのか？」と。
　過ぎ去った時間を後悔しても遅い。「2年生に戻って勉強をやり直せたら…」そう考える者もいるだろう。しかし、この世にタイムマシンは存在しない。そんな時、私はこう考えるようにしている。「今の自分は10年後の未来から、過去を変えるためにやってきたのだ」と。
　だから、「今」やり直すんだ、未来を。受験の終わる1年後の未来から、戻ってきたんだよ、今。過去は変えられない。しかし未来は変えられる。そしてそれは今への働きかけ次第だ。今までで最高の、最強の自分を出そう。未来の自分に誇れる行動をしよう。さぁ前を向け。気持ちを奮い立たせろ。目標に向かって全力で突き進め。背中は守ってやる。

次は45回生のアイドル「藤原先生」です！お楽しみに☆